

## 石の上にも三年



「石の上にも三年」という諺がありますが、この意味は、どんなに苦しくともじっと我慢して辛抱していればきっと成功するということです。

すでに進路が決まった人はほっとしていると思います。しかし、4月から実際の職場に入ると、「自分のイメージしていたものと違う」、「こんな仕事は自分に合わない」・・・等々といった思いにとられる人も少なくないでしょう。毎年5月頃になるとそんな思いより、せっかく入った会社をすぐに辞めてしまう人が後を絶ちません。以前のように景気のよい時代ならば、やめても次の会社が見つかりましたが、これからはそんなわけにはいきません。やめたが最後次の職になかなか就けない可能性が高いはずです。せっかく入った会社を安易に辞めないうで欲しいものです。その意味でも「石の上にも三年」という言葉を思い起こし辛抱しましょう。

本来仕事が自分に合う合わないなどというのは、単純に判断できるものではありません。自分に合わないと思っていても案外続けてみると、仕事の面白さが出てきて、ずっとその仕事を続けるということは良くあることです。

多くの大人も今自分が就いている仕事を、「やめたい」と思ったことは一度ならずあると思います。それでも辛抱して続けているのです。常に仕事が楽しくて仕方がないなどという人はそういるものではありません。皆日々仕事の上で色々なことに悩みつつ、一方では仕事を通じて時には喜びや生き甲斐を感じ生きているものです。

世の中に出て「辛抱が出来ない人間ではダメ」です。いやなこと辛いことがあってもそこから安易に逃げることをまず考えるのではなく、3年間は我慢する心構えが必要でしょう。3年間我慢してみてそれでも我慢できなければ仕方がありません。次の方針がしっかりしての退職ならよいのですが、単純に現実逃避では負け犬と同じです。逃げの人生には実りはありません。辛いことを乗り越えてこそ感動や喜びがわくものです。強歩大会や山登りでその過程は辛くともやり遂げた後の爽快感は、苦労したものにしか分かりません。苦労があるからこそ楽しみがあるのです。苦あれば楽あり、楽あれば苦ありです。

<以下小林哲先生>

## 指定校推薦入試 期募集の案内

次の学校から指定校追加募集(期)が来ました

### 1 . 帝京大学短期大学 (今回初めて指定校推薦募集を頂きました)

人間文化学科、現代ビジネス学科 各1名

評定平均値 3.0以上

出願期間 11月24日~12月8日 選考日 12月12日 発表12月16日

申し込み締め切り 12月2日迄に進路指導室 小林まで

